

誌上対談

# 「Happy Industry」への道

印刷会社におけるソリューション・プロバイダーとしての役割とは

かねてよりの課題であった人口減少に伴う市場縮小という背景に加え、新型コロナウイルスが通常よりも早く社会の構造変化をもたらしました。いま、私たち印刷会社にはお客様の課題を解決するソリューション・プロバイダーとしての役割が求められており、旧来の請負型製造業から脱却し成長産業となるための取り組みが待ったなしの状況になっています。

そんななか、滝澤会長は昨年全印工連オンラインフォーラムで3つのポイントを挙げられました。

- ① 効率の良いプロダクションによる収益改善
- ② ソリューション・プロバイダーとしての価値の提供
- ③ 人材の確保と育成

今回は、これらの点について、全日本印刷工業組合連合会の滝澤会長に、さらに詳しくお尋ねをし、印刷産業を「Happy Industry」として未来永劫に必要とされる存在へと変革するための指針としたいと思います。

**浦久保:** 昨年は新型コロナウイルスの影響で「人・もの・お金」が世界同時に止まるというかつてない状況になり全産業が大きな影響を受け、もちろん印刷業も例外なく打撃を受けました。まずは昨年の状況をどのように受け止められていますか。また本年はワクチンの接種なども始まりますが、収束までにはまだまだ時間がかかり元の姿には戻らないと考えますが、滝澤会長のお考えをお聞かせください。

**滝澤:** このたびは貴重な対談の機会を設けていただき、ありがとうございます。

昨年秋までは徐々に経済が回復し始め皆がワクチンに対する期待を抱いていた矢先、冬になってからの第三波感染急拡大に伴う緊急事態宣言再発出という事態に至り、社会全体に失望



大阪府印刷工業組合 理事長

浦久保 康裕

生産性の向上を図る  
組合員企業同士の連携・協調により、



全日本印刷工業組合連合会 会長

滝澤 光正

感と閉塞感が漂っています。今後ワクチン接種が始まってこのウイルスとの闘いは数年単位の時間がかかるのではないかと考えています。私たち事業者もそれを見越した経営判断が求められていると思います。

昨年は新たな日常のもと、テレワークなどの新しい働き方にも果敢に挑戦してきました。すべてがもとの状態に戻ることを期待するのではなく、ニューノーマル時代にあった企業への変革に不断の努力が求められていると思います。

**浦久保:** 昨年全印工連オンラインフォーラムで滝澤会長が全国の組合員に向けて発信をされた点についてもう少し詳しくお伺いしたいと思います。まずは効率の良いプロダクションによる収益改善についてです。この点についてはDX（デジタルトランスフォーメーション）になると思いますが、DXについてはまだまだ十分に理解する材料がないなかで言葉が先行している点も指摘されています。現段階でももう少し詳しい情報の提供をお願いいたします。

**滝澤:** 国内印刷産業は需要減少による市場縮小が続いているにも関わらず過剰設備による供給過剰の状態、収益力の低下により設備の老朽化も進み、総じて生産性が低い

ということが明らかになっています。効率の良いプロダクションによる収益改善のために、全印工連では、予めアライアンスを組んだ組合員同士がクラウド上で仕事の受発注を行えるネットワークシステム、プラットフォームの構築を進めています。この取り組みではIT技術を活用し、各社の収益の見える

化促進と、組合員企業同士の生産連携と効率化、全体としての生産性向上を目指しています。各社が引き続きお客様へ価値を提供し続けるためには、組合の仲間同士による連携、協調によりお互い補い合い、生産設備を最適化して生産性を向上させ、効率の良いプロダクションを図っていくというものです。

## 得意分野に経営資源を集中特化して顧客接点の最大化を!

**浦久保:** 過去全印工連から業態変革の名のもとに数々の提言が私たちに投げ掛けられてきました。待たなしの経営判断を迫られるなか、今一度それらの提言の中から自社の進むべき方向をしっかりと定め、躊躇なく行動するときです。私たち印刷業が顧客の課題解決のパートナーとしてなくてはならない存在になるための重要な点は何だとお考えですか。

**滝澤:** 各社が特長を活かし得意分野に経営資源を集中特化して顧客接点の最大化を図る、ということに尽きると思います。全印工連では過去数次にわたる提言によりソリューション・プロバイダーへの変革の方向性や好事例を提供してきました。また現在産業戦略デザイン室ではDX導入後を見据え新たな社会課題に対する印刷産業の役割や貢献の方策について議論し、今年度提言を行う予定ですが、いずれにせよ、価値観が多様化した現在においてもはや画一的な成功のビジネスモデルは存在しません。各社が今後いかに顧客のパートナーとなり得るかは、それらの情報をもとに差別化できる経営戦略を各社で探求していただくことが必要です。

**浦久保:** コロナ禍のなか、テレワークやリモートなどが進み働き方も随分と様変わりしました。またこの傾向は当然続きますし、暫定的なものではなく恒久的な仕組みとして定着が進むと考えられます。またITリテラシーがないと社内外の課題に



### 「幸せな働き方改革」の推進に一層の注力

対応ができなくなり大きな格差を生むことも考えられます。優秀な人材確保と育成のために従来から進めてきました「幸せな働き方改革」推進により一層注力すると共に新たな課題にも対応する必要があると考えますが、滝澤会長の「働き方改革」へのお考えをお聞かせください。

**滝澤:** 私たち中小企業の成長のカギは優秀な従業員の皆さんです。社会が変わり、人々の働き方に関する意識も変わっていくなかで、優秀な人材の確保には魅力ある職場づくりが欠かせません。今後ますます担い手が減っていくなかで、安心して

働ける多様な働き方が可能になる制度や仕組みの導入は不可欠です。組合員の皆さまには、まずは全印工連「幸せな働き方改革」のテキストやセミナーを有効に活用し、職場改善に役立てていただきたいと思っています。またこれからますます必要とされるITスキルを習得するためのリカレント教育なども今後組合として事業メニューに加えるべく、担当役員、委員会において作業を進めています。



**浦久保:** 全印工連では印刷議連(中小印刷産業振興議員連盟)を通じて一企業、一工組だけでは解決できない印刷業界が抱える課題、たとえば官公需の取引改善、特に著作権・知的財産権の問題などへの取り組みがあります。滝澤会長の政治連盟への在り方や今後の取り組みについてのお考えをお聞かせください。

**滝澤:** 今回のコロナ禍における行政の経営支援策策定や従前からの官公需取引改善などの問題解決にあたっては、私たち事業者の要望を踏まえて応援していた

だけの政治家の方々の力添えが大変重要でしたし、今後も大切にしていきたいです。これまで印刷議連を通じて用紙一斉値上げに対する対応や官公需における再生紙代替品対応、知的財産権の取り扱いなどに一定の成果を挙げることができました。組合員の皆さまにはこうした背景をぜひご理解いただきたいと思っています。そのうえで今後も印刷議連所属議員との関係をより深め、政治の力をいただきながら私たち共通の課題解決に、ひいては印刷産業の地位向上に努めたいと考えています。



**浦久保:** 本年もコロナ感染症の影響はまだまだ続くと考えられます。この状況下なか、事業継承についても多くの経営者が悩んでおられると思います。最後に滝澤会長から大阪府印刷工業組合の組合員に向けて力強いメッセージをいただけますでしょうか。

**滝澤:** この未曾有の事態に皆さんが苦しい経営環境におかれていることはよく承知しています。組合員の皆さまには、こんなときだからこそ組合に集い、情報を捉え、組合事業を積極的に利用し経営改善に役立てていただきたいと切望します。組合運営をお預かりする私たち役員は、組合員の皆さまと一丸となって総力を結集し、今後も皆さまに必要とされる事業の運営にスピーディーにあたってまいります。日本における印刷という素晴らしい産業、文化を次代に繋げるためにも、引き続き印刷が人々の暮らしを彩り幸せを創る役割を担う健全な産業として発展するため、ともに手を携えてこの難局を乗り越えていきましょう。

**浦久保:** 私も全印工連執行部の一員として滝澤会長を全力でサポートさせていただきます。共に頑張ってみましょう。本日はお忙しいなか、ありがとうございました。

印刷という素晴らしい産業、文化を次代に繋げるために